

2025 年度 フィールドスタディ (FS) 実施企画

授業コード：25041602

※奨励金のカテゴリーは企画時点のものであり、今後変更される可能性があります。

奨励金の最終的な支給金額は FS の日程終了後に決定します。

テーマ タイトル	震災・復興・消滅可能性—奥能登・珠洲の暮らしと向き合う
担当者	金光 秀和
実施時期	9月2日火曜日～9月5日金曜日（3泊4日）
実施場所	石川県珠洲市
協力機関	中島大河氏（珠洲焼作家）、西海一紗氏（サポートスズ）
募集人員	5名
学習目的	<p>奥能登に位置する珠洲市は、震災を経た今、復興が望まれている。しかし、従来型の「復興」は、都市の人口減少や高齢化といった構造的な問題を抱えたままの回復にとどまるおそれがある。珠洲の現状は、全国の「消滅可能性都市」が直面する課題を、時間軸を早めて可視化しているとも言える。</p> <p>このフィールドスタディでは、こうした課題を一足飛びに論じるのではなく、まずは珠洲の「暮らし」に五感で触れ、その実態に向き合うことを目的とする。震災前後に珠洲に移住してきた人々の話を聞き、珠洲を探訪するワークショップを通して、自分たちも短期間ながら「暮らす」ように滞在し、その土地の空気、営み、人とのつながりを経験する。</p> <p>その体験を通じて、都市の持続可能性を考えるための、抽象ではない具体的な土台を築くことを目指す。</p>
行程	<p>1日目（9/2 火曜）（10時金沢駅集合）：珠洲へ移動、珠洲探訪WS、夕食会</p> <p>2日目（9/3 水曜）：珠洲探訪WS、中島氏との懇談、珠洲に暮らす方々との交流、夕食会</p> <p>3日目（9/4 木曜）：珠洲探訪WS、西海氏との懇談、珠洲に暮らす方々との交流、夕食会</p> <p>4日目（9/5 金曜）：珠洲探訪WS（12時45分珠洲発のバスに乗りし帰路へ）</p> <p>宿泊先：調整中</p> <p>現在、宿泊先については、災害復旧に従事されている方々の宿泊が優先されている状況もあり、民宿等を中心に検討中であるが、最終的な決定は直前になる可能性がある。</p> <p>また、状況によっては、地域の集会所等の共同スペースにて、寝袋等を用いた簡易宿泊となる可能性がある。</p>
費用	<p>費用は交通費としておおよそ31,000円を見込んでいる。内訳は以下のとおり：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京～金沢間の往復交通費：約26,000円（新幹線を学割で利用した場合） ・金沢駅～珠洲間の往復バス代：約5,400円 <p>このほか、宿泊費および食費が別途必要となる。</p>
奨励金の カテゴリー （予定）	C：3,000円
選考基準	<p>志望理由書と面接をもとに選考を行う。</p> <p>現地の状況や趣旨を正しく理解したうえで参加してもらうため、事前説明会への参加を原則必須とする。やむを得ない事情がある場合は、事前連絡のうえ個別対応とする。</p>

<p>事前・事後 学習の予定</p>	<p>事前説明会：5月13日火曜、18:40～19:40、BT24階・人間環境学部・会議室 事前学習①：6月24日火曜、18:40～20:10、BT24階・人間環境学部・会議室 事前学習②：7月15日火曜、18:40～20:10、BT24階・人間環境学部・会議室 事後学習：9月16日火曜、13:00～14:30、オンライン</p>
<p>注 意 事 項</p>	<p>(1) 参加許可後に、キャンセルをしないでください。キャンセルをした場合でも、費用負担をしてもらう場合があります。 (2) 応募を考えている方は、原則事前説明会に参加してください。</p>
<p>評 価 方 法</p>	<p>事前・事後学習の状況(30%)、現地活動の状況(40%)、最終レポートの内容(30%)をふまえて総合的に評価する。</p>